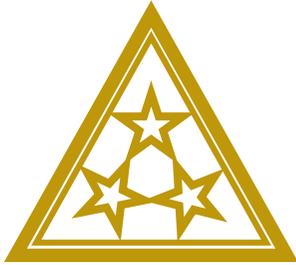


**平成23年3月期
決算説明会**

株式会社 中山製鋼所
NAKAYAMA STEEL WORKS,LTD.

平成23年5月20日



平成22年度 業績について

P. 1~P. 7

平成23年度 業績予想について

P. 8~P. 12

鉄鋼事業 構造改革の進捗状況

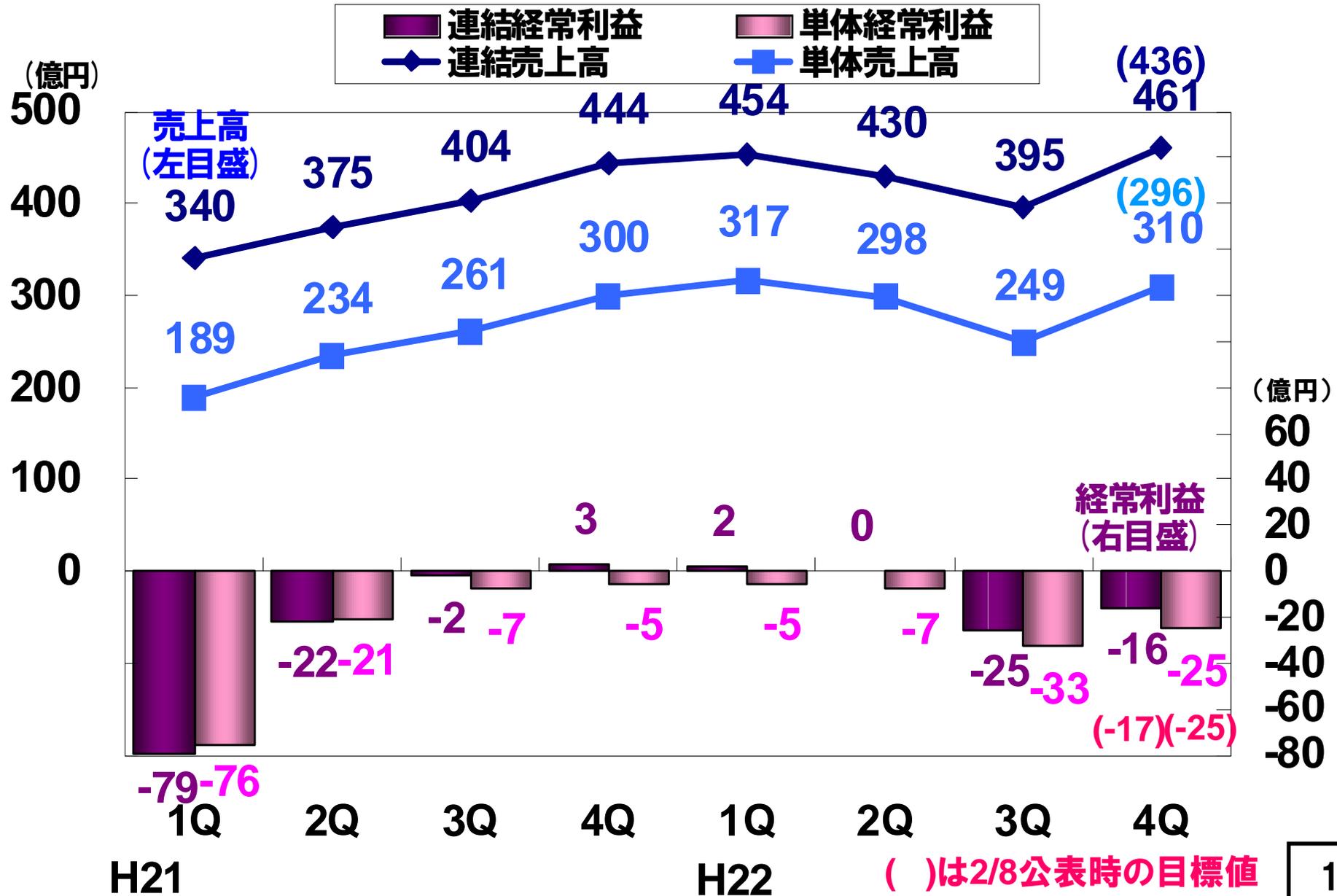
P. 13

東日本大震災の影響

P. 14



1. 連結売上高、経常利益の四半期推移



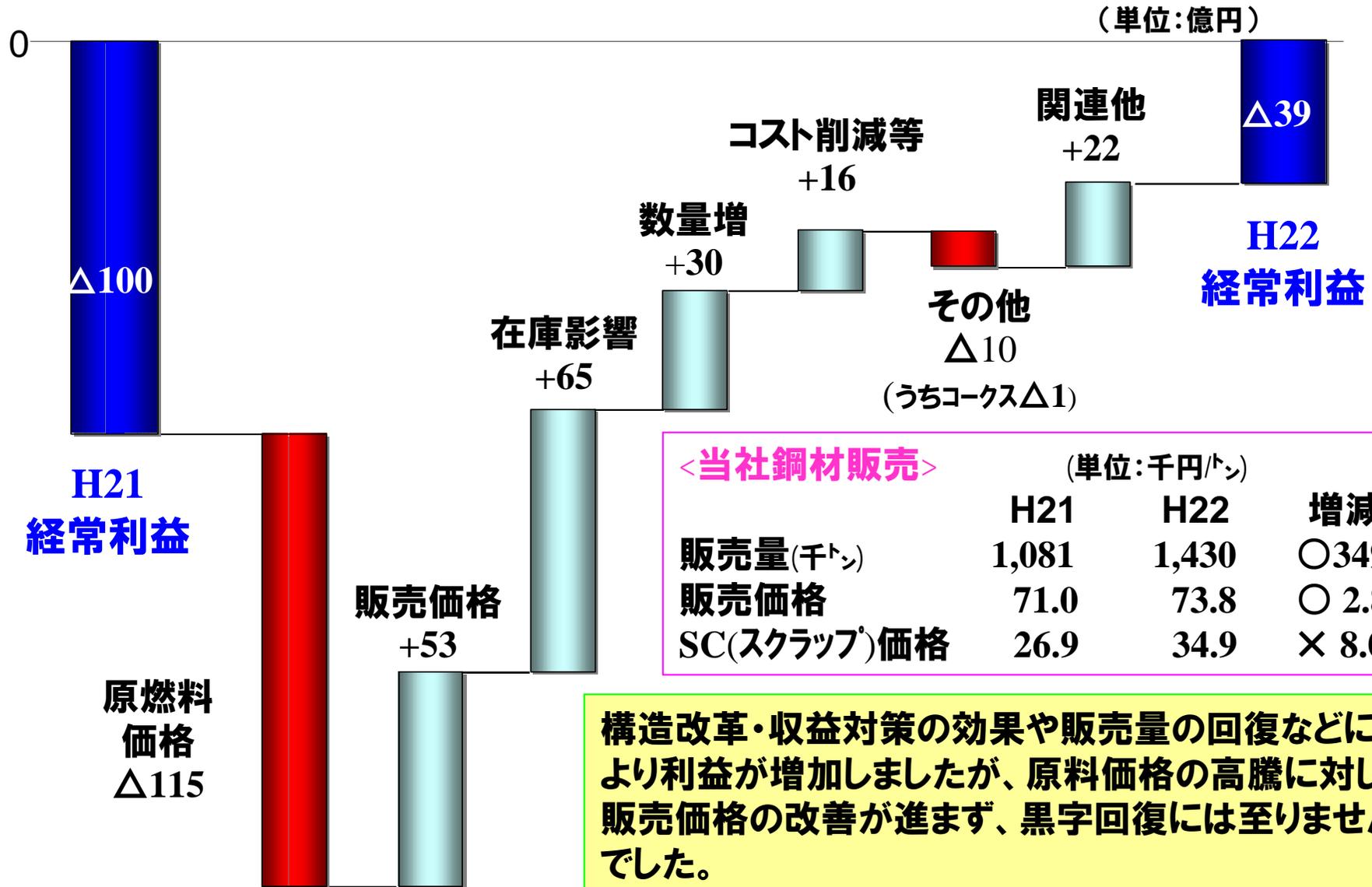


(単位:億円)

2. 連結業績～平成22年度実績

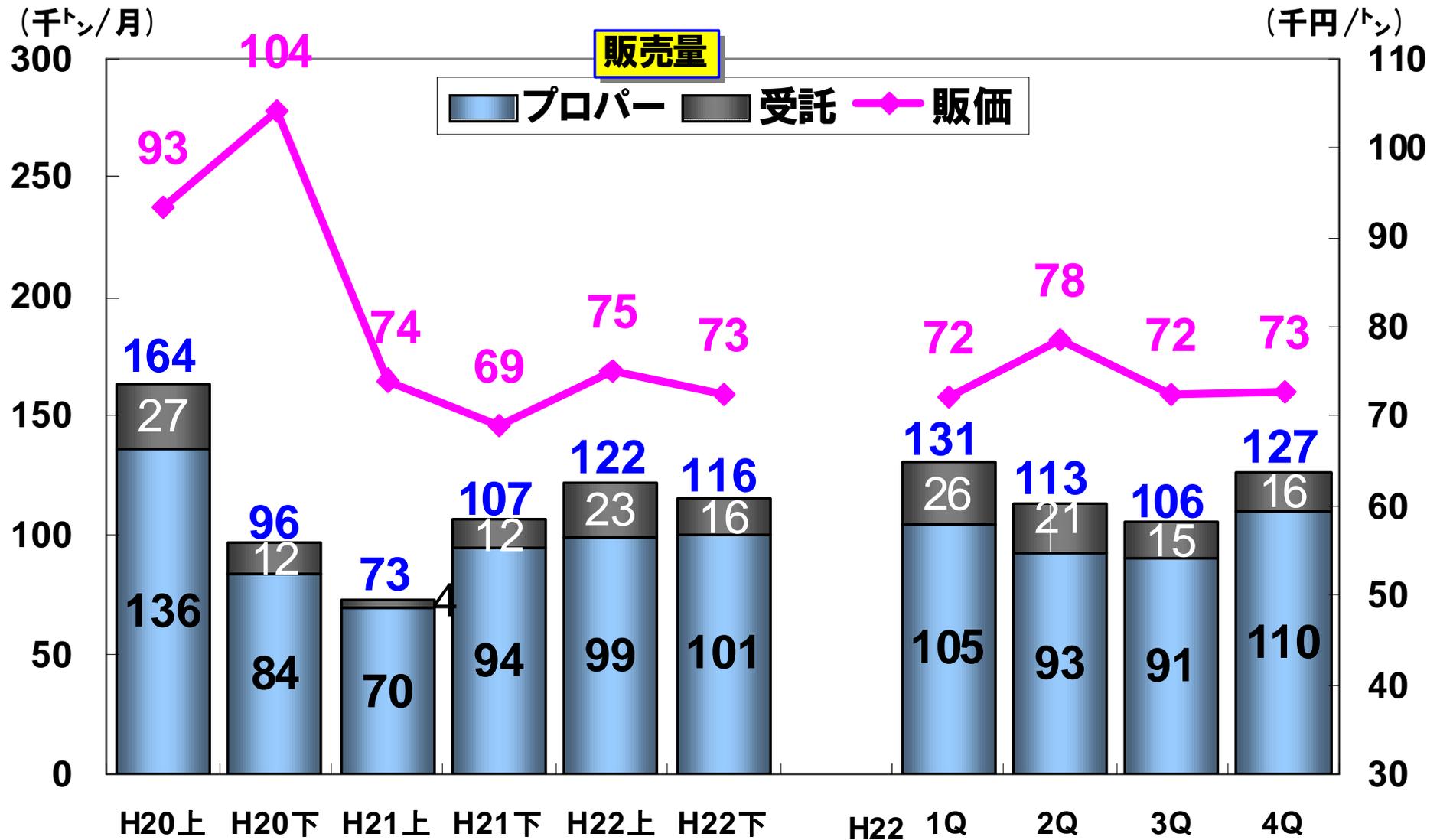
	H21年度			H22年度			増減 ②－①	年度予想	
	上期	下期	合計①	上期	下期	合計②		11/9公表	2/8公表
売上高	715	848	1,563	884	856	1,740	+177 <+11%>	1,780	1,715
(単体)	(423)	(561)	(984)	(615)	(559)	(1,174)	(+189)	(1,225)	(1,160)
営業利益	▲ 93	9	▲ 85	13	▲ 29	▲ 16	+68	27	▲ 15
(単体)	(▲ 88)	(▲ 3)	(▲ 91)	(▲ 1)	(▲ 44)	(▲ 45)	(+46)	(0)	(▲ 45)
経常利益	▲ 101	1	▲ 100	2	▲ 41	▲ 39	+61	2	▲ 40
(単体)	(▲ 97)	(▲ 13)	(▲ 109)	(▲ 13)	(▲ 58)	(▲ 71)	(+39)	(▲ 25)	(▲ 70)
特別損益	▲ 92	▲ 0	▲ 93	▲ 12	▲ 1	▲ 13	+80		
(単体)	(▲ 90)	(0)	(▲ 90)	(▲ 10)	(2)	(▲ 9)	(+82)		
当期純利益	▲ 189	▲ 7	▲ 197	▲ 18	▲ 50	▲ 68	+129	▲ 25	▲ 65
(単体)	(▲ 186)	(▲ 13)	(▲ 199)	(▲ 23)	(▲ 57)	(▲ 80)	(+119)	(▲ 35)	(▲ 75)

3. 連結経常利益《前期比》





4. <単独>鋼材販売量と鋼材販売価の推移



5. 特別損益

(単位:億円)



	項目	H21年度	H22年度	前期比
特別利益	移転補償金	17.0		-17.0
	固定資産売却益	5.4	5.1	-0.3
	固定資産受贈益		1.3	1.3
	貸倒引当金戻入益	0.3	0.0	-0.3
	合計	22.7	6.4	× -16.3
特別損失	構造改革費用	98.4	5.1	-93.3
	減損損失	12.4		-12.4
	固定資産除却損	3.9	3.0	-0.9
	特別退職金	0.6	6.3	5.7
	災害損失		3.0	3.0
	過年度資産除去債務		1.8	1.8
	合計	115.3	19.1	○ -96.1
	特別損益	-92.5	-12.7	○ 79.8

名古屋
工場
跡地

枚方

鉄鋼事業構造改革

鉄鋼事業構造改革

東日本大震災、降灰

6. 連結 貸借対照表



(単位:億円)

科目	H22/3 末	H23/3 末	前期 末比	注記
現預金	174	164	-10	手元資金厚め
売掛債権	351	358	+7	
棚卸資産 (うち単体)	306 (237)	318 (233)	+13 (-4)	鋼片+ 3, 鋼材- 4, SC +13他
その他	23	23	-0	
流動資産	853	863	+9	
有形・無形	1,337	1,201	-136	除却-66, 償却-77,投資+52 土地売却-44他
投資他	91	90	-1	時価-10、出資+9他
固定資産	1,428	1,291	-137	
資産合計	2,281	2,153	-128	

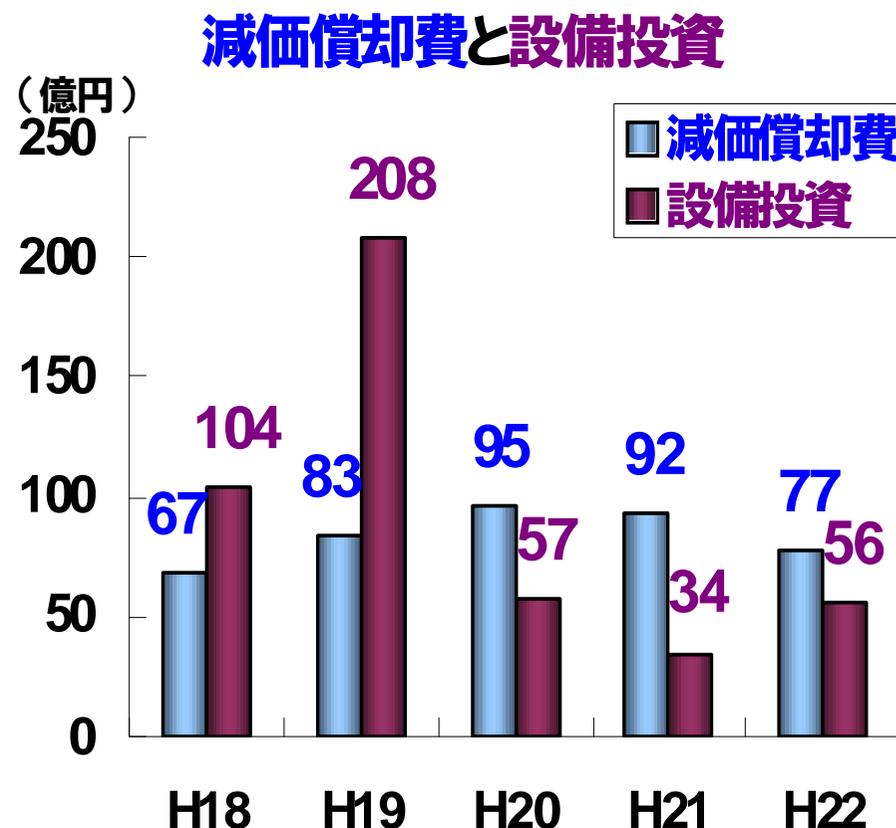
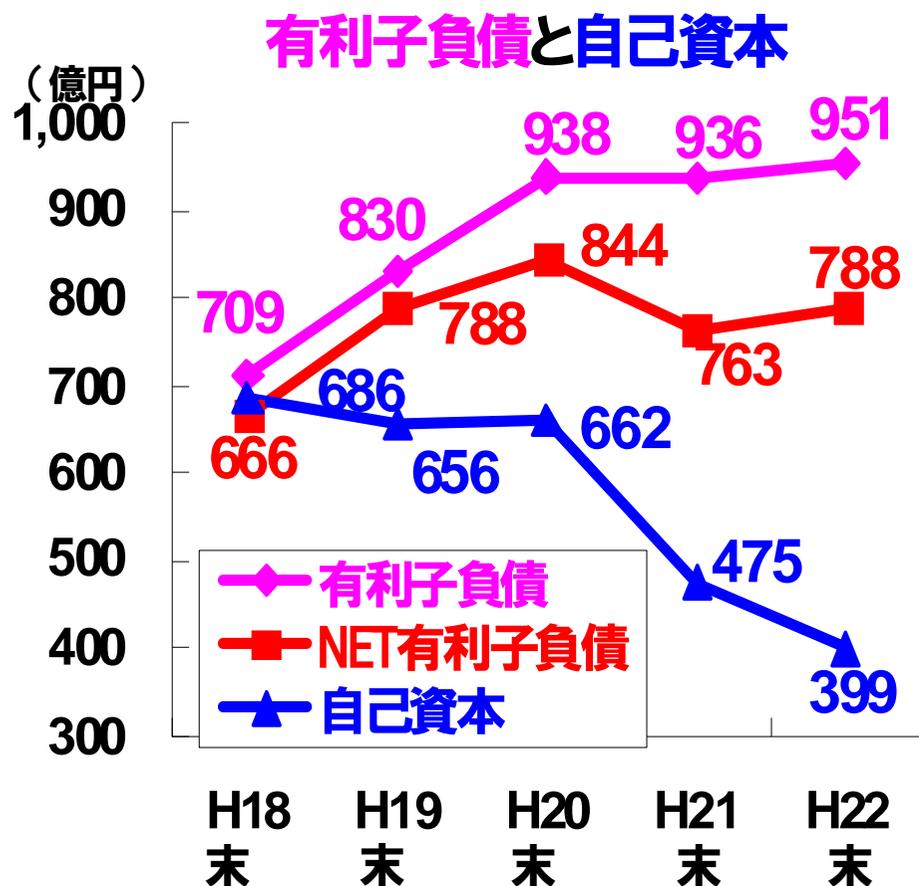
科目	H22/3 末	H23/3 末	前期 末比	注記
買掛債務	263	276	+13	
借入金	936	951	+15	長期増+100
繰延税金負債	200	200	-0	
諸引当金 (うち、事業構造改善)	146 (98)	65 (22)	-82 (-76)	残り解体
その他	75	70	-5	
負債	1,621	1,561	-59	
株主資本	291	225	-66	純利益-68
評価・換算差額等	184	174	-10	有価証券差額8
少数株主持分	185	193	+8	
純資産	660	592	-68	
負債純資産合計	2,281	2,153	-128	

自己資本 475 399 -76
 自己資本比率 20.8% 18.5% -2.3%

7. 設備投資、有利子負債と自己資本



H20年度末より、手元現預金を厚くし、有利子負債は大幅に増えましたが、設備投資を減価償却の範囲内で抑え、さらに今年度は枚方土地や名古屋土地一部の売却など、自己資金を捻出し、今年度末時点でのNET有利子負債はH19年度末程度に抑えました。





8. 平成23年度での取り組み～経営施策

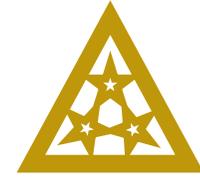
- ☑ **電気炉材の適用拡大**（平成23年2月より昼夜操業）
- ☑ **鉄源の多様化**
- ☑ **受託の拡大**（平成22年度導入したエッジヒーター・圧延直後冷却装置の導入による品質効果の活用）
- ☑ **中高級鋼の拡販**
- ☑ **工期・納期短縮の一層推進**
- ☑ **採算重視の強化**
- ☑ **販売価格の改善**
- ☑ **震災の復旧・復興需要への対応、被災企業の代替生産**
- ☑ **緊急対策の継続**（修繕費・外注費・労務費の削減など）
- ☑ **追加コスト削減**
（修繕費の削減、歩留り・原単位の向上など）



9. 連結業績～平成23年度予想

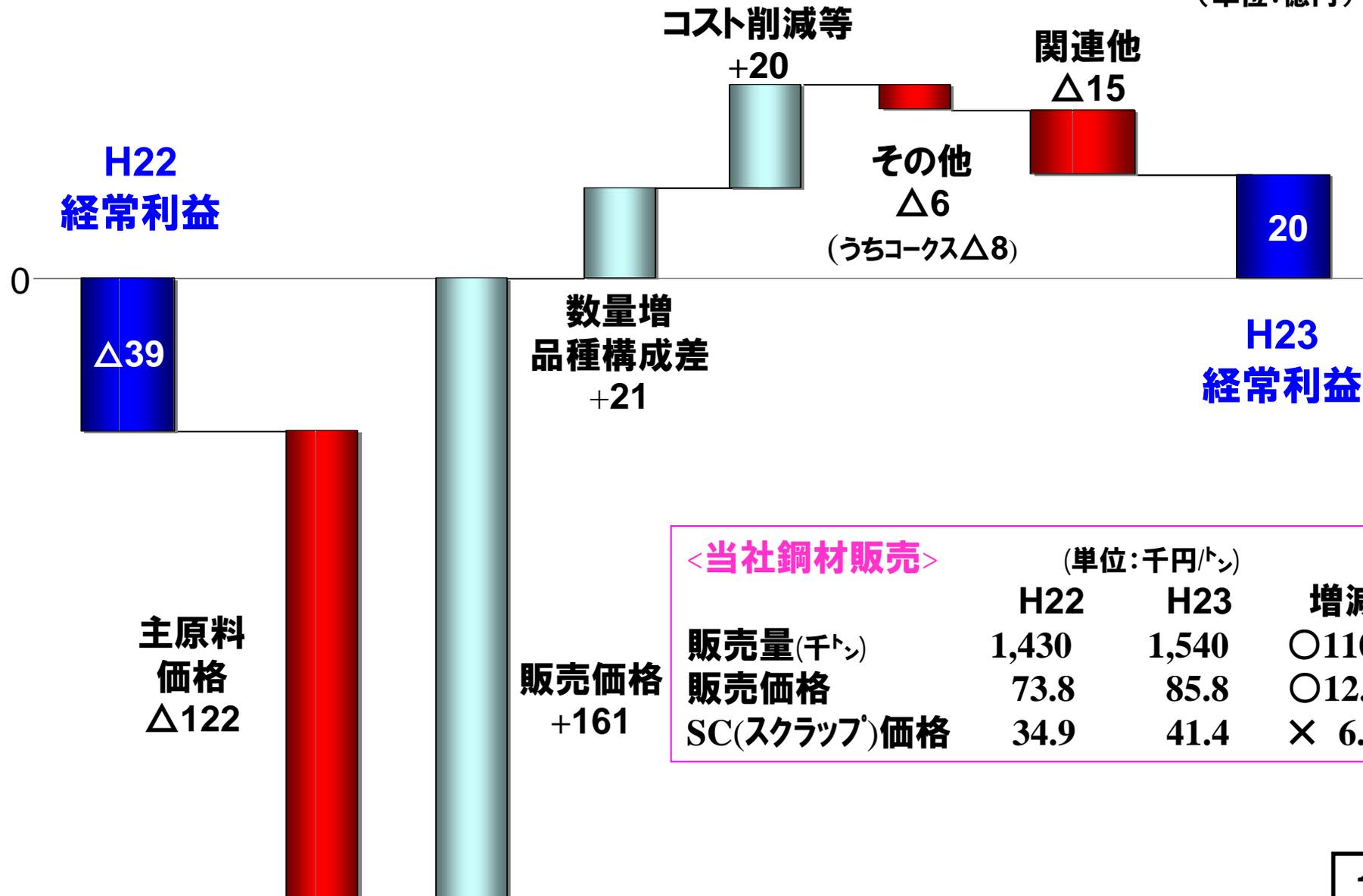
(単位:億円)

	H22年度 実績			H23年度 予想			増減
	上期	下期	合計①	上期	下期	合計②	②－①
売上高	884	856	1,740	935	995	1,930	+190 <+11%>
(単体)	(615)	(559)	(1,174)	(670)	(750)	(1,420)	(+246)
営業利益	13	▲ 29	▲ 16	15	30	45	+61
(単体)	(▲ 1)	(▲ 44)	(▲ 45)	(10)	(20)	(30)	(+75)
経常利益	2	▲ 41	▲ 39	5	15	20	+59
(単体)	(▲ 13)	(▲ 58)	(▲ 71)	(0)	(5)	(5)	(+76)
特別損益	▲ 12	▲ 1	▲ 13	0	0	0	+13
(単体)	(▲ 10)	(2)	(▲ 9)	(0)	(0)	(0)	(+9)
当期純利益	▲ 18	▲ 50	▲ 68	0	10	10	+78
(単体)	(▲ 23)	(▲ 57)	(▲ 80)	(0)	(5)	(5)	(+85)



(単位:億円)

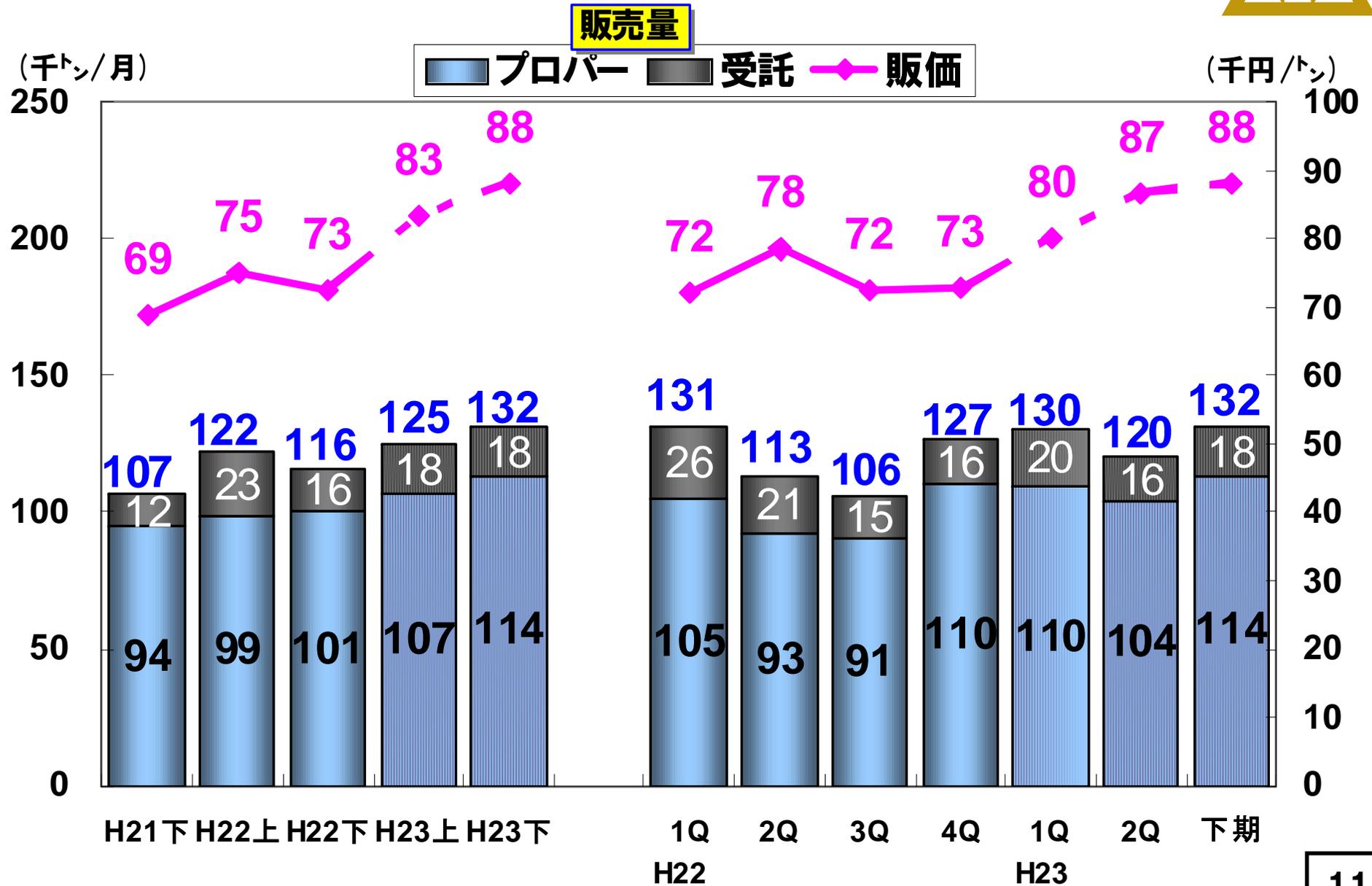
10. 連結経常利益《前期比》



<当社鋼材販売>		(単位:千円/トン)		
	H22	H23	増減	
販売量(千トン)	1,430	1,540	○110	
販売価格	73.8	85.8	○12.0	
SC(スクラップ)価格	34.9	41.4	× 6.5	

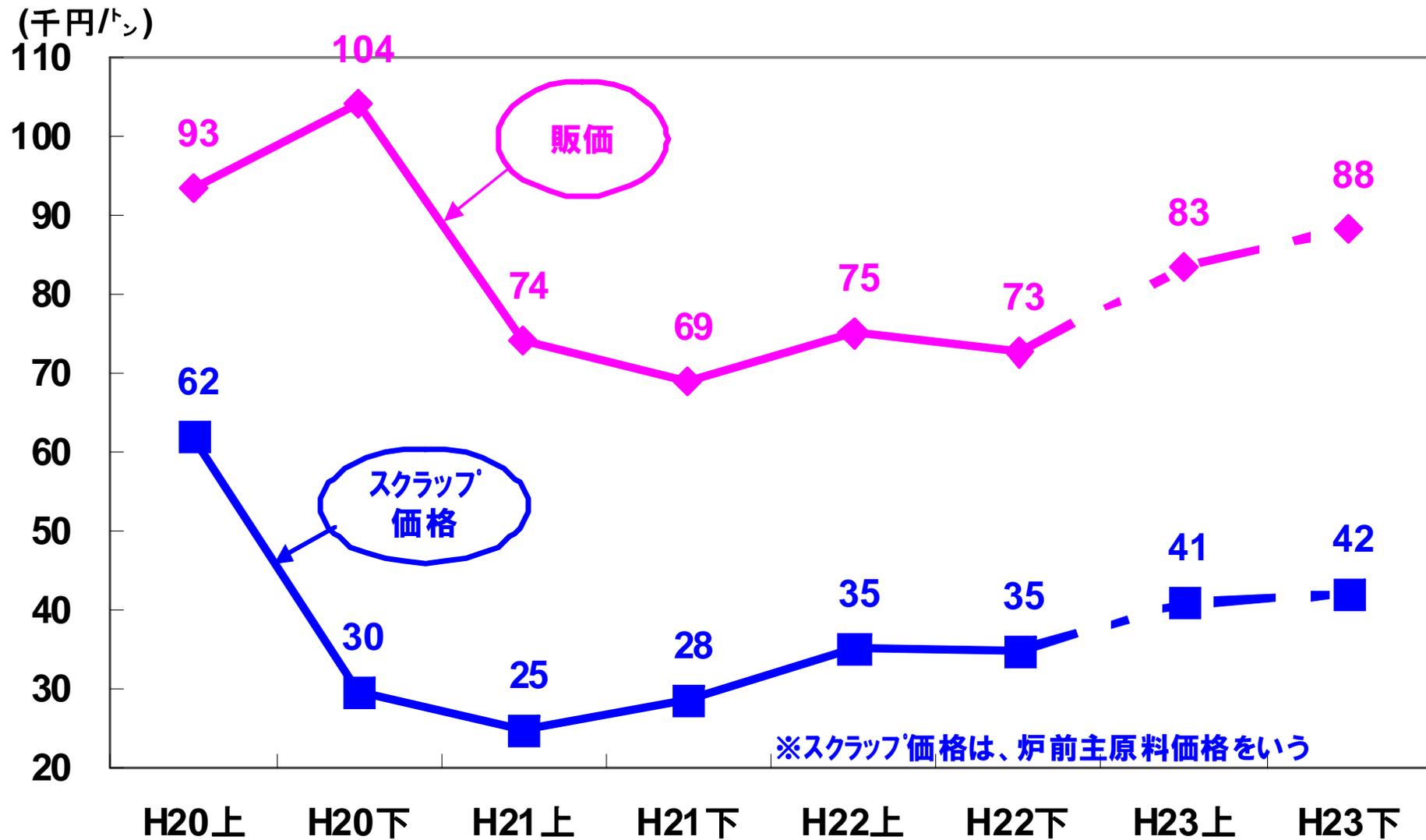


11. <単独>鋼材販売量と鋼材販売価の見通し





12. <単独>鋼材販売価格とスクラップ価格の見通し

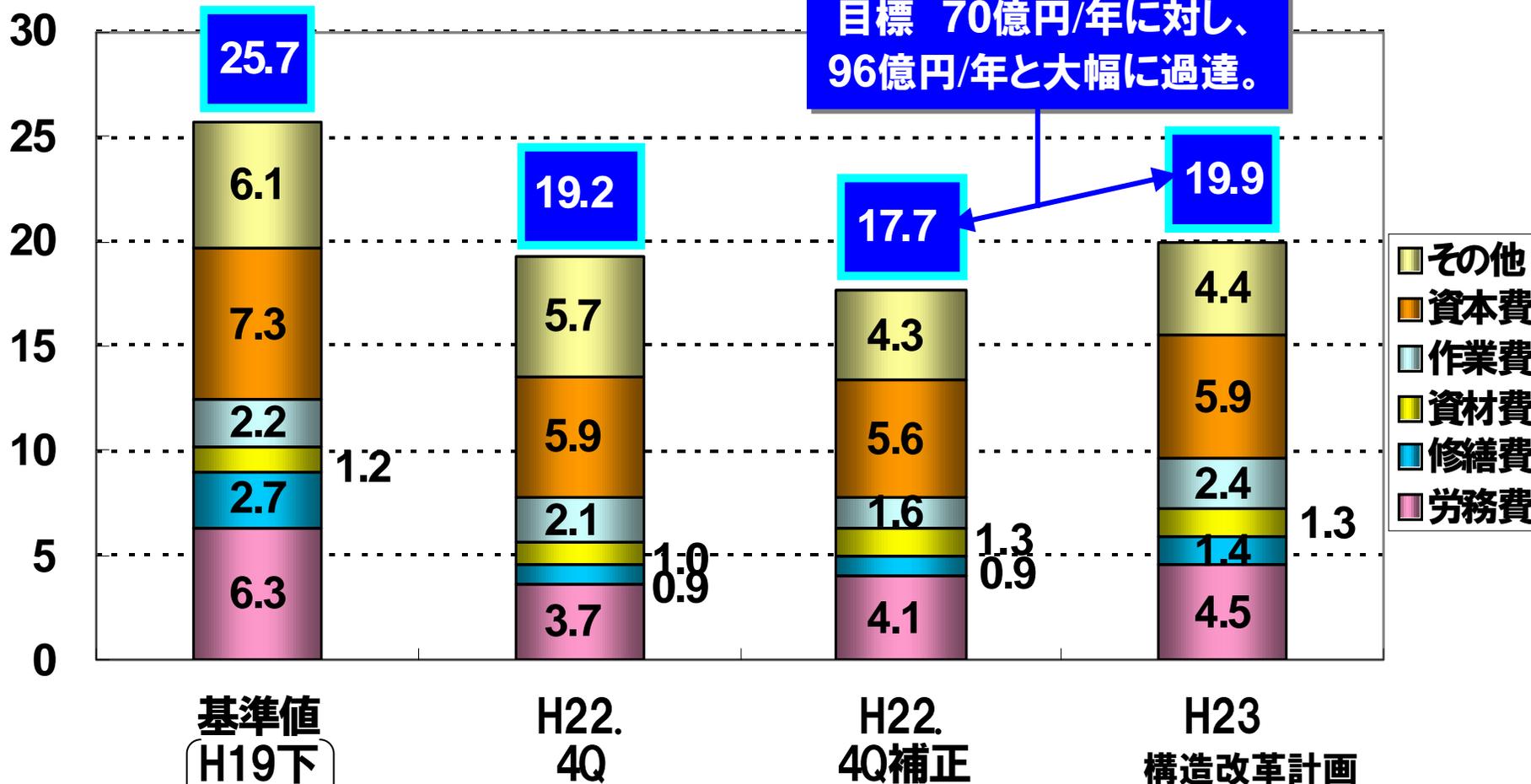


13. 構造改革による固定費削減



★緊急収益改善を含む

(億円/月)



目標 70億円/年に対し、
96億円/年と大幅に過達。

人員削減

＜単体：従業員数＞在籍ベース
 H23.3末 759名 (H21.4比 △180名)
 H21.4～H23.3 新規出向29名、直営化11名 } 実質 合計△220名

補正：構造改革条件に置換え、一過性費用を除いたもの

14. 東日本大震災の影響



☞ 中山通商・仙台支店、三星商事・石巻営業所と石巻中継地が被災し、特別損失(災害損失)3億円を計上

☞ 当社の生産設備には影響なし

□ グループ会社：8社(連結子会社) 48拠点
 <鉄鋼>国内拠点 41拠点

- ：製造拠点 11ヵ所(当社、中山三星建材)
- ★：販売拠点 30ヵ所(中山通商、三星商事)
- ：海運航路

